

花冷えの南あわじ市桜めぐり～論鶴羽山～



ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員

洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551

ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/hyoutokyo/>

「おたがいさま中川原」試行事業 論鶴羽山お花見

第6回目の試行事業は春の訪れにあわせ、4月6日に南あわじ市の論鶴羽山(ゆづるはさん)へお花見を企画し、今回初めてとなるお二人を迎えて、11名の方が参加されました。

当日の天候は晴れていたのですが、花冷えを感じる朝でした。出発時には晴れていた天候も到着する頃には小雨が降り始め、風も次第に強くなり、寒さのため車内で食事をとることにしました。

しかも、論鶴羽山の桜はまだほとんどが蕾で咲いているものも三々四部咲きで、さながら寒風に身を縮める私たちとおなじように、桜の花も蕾のままその身を固めていました。

昼食後、論鶴羽ダムを一巡り。車内ではダムの湖面と山々の景色に感嘆の声が上がっていました。

4月に入り、今年もふくろうの郷の桜がきれいに咲きました。「桜ヶ丘」と呼ばれる中川原中学校の桜も咲き、来年はこの場所で「ふれあいセンター」として多くの方たちと花見を楽しんでいただけるようになるのだと、思いを馳せました。
新年度が始まり、ふくろうの郷にも新しい職員6名を迎えました。「一人ひとりを大切に共に生きる」という法人の理念を忘れず、職員一同頑張っております。



▲持参した行楽弁当も好評でした

しかし、「もつと満開に近い桜をみなさんに見てもらいたい」と考え、帰りの道中で桜が咲いていそうな場所都美人の駐車場や、パナソニック周辺を巡りながら岐路につきました。

「三原までに来るのは本当に久しぶり」「目のごちそうになりました」「いろいろなどこの桜を見て周れたので楽しかった」「弁当がついてドライブまでできて楽しかったなど、参加者からありがたい声をいただきました。

今後も外出を行うことが困難になっている方へのつながりや外に出る楽しさを提供できる「おたがいさま中川原事業」に繋げていきたいと思えます。(担当:神代)

平成24年度 淡路ふくろうの郷家族会 役員決まる

3月24日に家族会が行われ、新年度の役員が決定しました。本年もよろしくお願ひします。

会長 廣地 タマエ 様



副会長 先山 栄一 様

会計 今川 清史 様

会計監査 堀越 祥二 様

幹事 小林 泉 様

神邦人 様

平成24年度辞令交付式



新体制が始まります

神戸に「総合福祉センター」を

ふくろう学習会

3月24日に淡路ふくろうの郷で、第16回ふくろう学習会を開催しました。

神戸ろうあ協会の仲井氏、神戸ろうあハウスの井上氏を講師に、仮称「神戸市聴覚障害者総合福祉センター構想」が提案されました。その概略を紹介します。(担当：中村)

総合福祉センター構想の検討経過

神戸ろうあハウスは、ろう重複障害者が利用する施設で、1994年4月に開所しました。建物はJRの高架下であり、振動・雨漏りに巨大ネズミの生息など不衛生で、その上、利用者増で極めて狭くなっています。この問題を解消するために、神戸ろうあ協会と関係者で調整し、以下の構想を検討しています。

構想策定にあたっては、神戸ろうあハウスの入れる施設構想を中心に、いま神戸に必要な福祉施設(高齢、重複聴覚障害者等)と地域との共生推進への「福祉施設」を検討の基本にしています。また、設立主体・運営主体は、社会福祉法人ひようご聴覚障害者福祉事業協会と協議し、すすめる予定とされました。

構想の基本

各事業の必要性・実態

構想は、事業の必要性や制度ぐらしの実態が基本とされています。

(1) 就労継続支援B型事業所「神戸ろうあハウス」について



講師の仲井氏(右)と井上氏(左)

神戸ろうあハウスの就労継続B型を移転させるが、歴史ある拠点であり、現在のろうあハウスの新たな活用を検討する。例えばB型の出張所など。

(2) 聴覚障害者・高齢者のグループホーム(ケアホーム)について
対象者の把握をすすめる。
例えば、社会的入院となつていたり、在宅状況等の把握をすすめる。

利用者数(定員)との関係で、グループホーム(GH)とケアホーム(CH)の両方の指定を受ける。その場合、GHとCH利用者の合計数で定員要件を満たしておればよい。

(3) 高齢者・障害者のショートステイ、聴覚障害者・高齢者のデイサービス(予防サービス)、訪問介護・訪問看護事業所について

2012年度介護保険改定で、新たに「複合型サービス」に係る規定が新設された。ただし、地域密着型サービスに該当する複合型サービスの事業は、訪問看護及び小規模多機能居宅介護の基本方針を踏まえて行わなければならない。

※聴覚障害者高齢者デイサー

ビス事業について、今、受諾している「神戸市介護予防・閉じこもり防止型デイサービス事業」「介護予防サービス」、「複合型サービス」も含めて検討。

(4) 聴覚障害者情報提供施設について
情報提供施設は兵庫県にはあるが、一ヶ所では足りず厚生労働省も政令指定都市への設置を指導しています。よって、県に

はない機能を入れた施設とする。例えば、聴覚障害児童を対象とした発達相談センター、放課後支援、小中学生との交流など

(5) 地域交流スペースについて
地域の人や関係者が気軽に利用できる地域交流スペースとして1階に設置する。就労支援を目的とする喫茶もあつてよい。

神戸市聴覚障害者総合福祉センター構想(案)

5F	障害者・高齢者 ケアホーム(CH)・グループホーム(GH)		
4F	高齢者・障害者 生活支援ショートステイ等		
3F	聴覚障害高齢者デイサービス 障ろう児・難聴児・児童デイサービス(放課後支援) 訪問看護・介護事業所		
2F	共同作業所ろうあハウス2F (就労継続支援B型事業所)		
1F	地域交流スペース 喫茶	情報提供施設 総合相談支援	共同作業所ろうあハウス1F

▲5階建ての多機能型施設で宿泊・ショート利用・相談・支援などの機能を備えた施設が構想されています。必要なもの、夢ののせたものを、みんなで考えてゆきましょう。



春



だんじりと獅子がふくろうの郷に 〜中川原春まつり〜

快晴の下、今年も中川原のだんじりがふくろうの郷へ来てくれました。
獅子に噛んでもらい喜んで入居者もおられました。



花より団子!?桜めぐり

今年のお花見は中川原中学校と諭鶴羽山でした。



春の彼岸 〜松栄寺へお参り〜

3月22日お彼岸ということ
で、ふくろうの郷で亡くなった
方々を納骨していただいている松
栄寺へ入居者6名と行ってきました。
お水と線香とぼた餅をお供え
し、お参りしました。

ご住職の笹津寛照様から「こ
こに納められている方々は、ここ
からふくろうの郷と皆さんを見
守ってくれています。皆さんも外
に出たとき、時々こちらの方を
見て亡くなった方のことを思い出
してあげて下さい」とお話を頂き
ました。
秋のお彼岸にもお参ります。



ご住職と共に故人をしのびました

続・地域を語る

第40回

巡礼さんとお接待

無量山・大照寺住職 本間克伯

春の訪れと共に、淡路では巡礼の好季となります。

手つ甲脚絆(きやはん)に、おいづる、麦藁帽(むぎわらぼう)を冠り、寺々と新仏(しんぼつち)(新聖霊)(しんしょうりょう)を、お祀りされている家を巡る居巡礼…これが淡路の春の風物詩。

昔は五月に入りますと、岩屋から始まり東浦(志筑)一宮(洲本)五色(三原)阿万と、淡路島を北から南へ十五日間を掛け縦断する巡礼さんの姿が多く見られました。

巡礼さん達は、お寺に、新仏(しんぼつち)の家に宿をいただきながら、その土地の人々と情報交換、又お見合の場として、又ある人は、御先祖様の年回忌供養に、そして新仏の位牌を背にお大師様と共に同行二人の精神で信心を培(つちか)い新仏の家の門口(かどぐち)で、お経を唱え、ご詠歌を唱え、舞を舞う。その供養のお返しとして、食事を、品物を、巡礼さん達に差し上げるこの慣習が、相互礼拝(お互いに

拝み合う心)相互供養(お互いに施し合う心)の心を培(つちか)いながら自然の内に貴い浄業が積み重ねられ、布施行に繋(つな)がり心の安息が生まれて来ました。

淡路島には、こんな長閑(のど)かな時の流れがありました、心の温もりもありました。

しかし現在は、自宅の玄関先から、お寺まで、新仏の家まで、何とも味気ない車の移動に変わりましたが、四季折々の淡路の風物に触れ自然の美しさに心を寄せ素朴な人情に触れながら、仏心と呼び起こし、より豊かな心の幸福を感じて巡り行くのが淡路の「居巡礼とお接待」であります。



いっしょに夕食を楽しみませんか

～小倉特別支援学校の皆さんと～

福岡県にある小倉特別支援学校の生徒の皆さんがふくろうの郷へ修学旅行の中で見学に来てくれます。今回は夕食の鍋料理を共にしながら生徒の皆さんと入居者と交流をおこないます。

この宴に参加して交流を行いませんか。参加費を希望される方はふくろうの郷までご連絡ください。なお、参加費は1,000円となっております。

日時: 4月25日(水) 17:30～

フランス料理を楽しむ会 ウェ이터ボランティア募集

ホテルアナガ支配人兼総料理長 中野匡昭様のご協力のもと、入居者の皆さんに本格的なフランス料理を楽しんでいただきます。

当日ウェ이터を担当して下さるボランティアを募集します。食事代として1,000円いただきますが、一緒に楽しみませんか?

スーツ着用での対応をお願いしますので、各自でご用意ください。

日時: 4月26日(木)10時～14時

ふくろう農園ボランティア募集

ふくろうの郷の畑に夏野菜を植えます。お手伝いに来て下さるボランティアを募集します。

日時: 5月5日(土)9:00～11:30 予定

場所: 淡路ふくろうの郷 ふくろう農園

※農作業ができる服装、汗拭き、着替えなどご用意ください。昼食が必要な方はふくろうの郷へお申込み下さい。



6月2日(土)開講 地域交流会主催 ふくろう手話講習会



今年もふくろうの郷で手話講習会が開講されます。

入居者のみなさんと共に交流を深めながら手話を学んでいきませんか。

みなさんの受講をお待ちしております。

日時: 毎月第1、第3土曜日

13:30～15:00

受講料はテキスト代のみです

**受講者
募集中**

ふくろう喫茶のおしらせ



日時: 4月22日(日)13:30～15:00

コーヒー・紅茶・ココア・カルピスなど
1杯¥200より

入居者さんと一緒に、楽しい時間を
過ごしませんか。



みなさまのおこしをお待ちしております

島外ふくろう学習会のおしらせ

■テーマ:

「神戸市聴覚障害者総合福祉センター(仮) 構想について

■日時: 5月26日(土)14時～

■場所: 県立文化体育館 研修室B



■お問い合わせはこちらまで

TEL:0799(25)8550 FAX:0799(25)8551